

学会 報告

日本臨床皮膚科医会 北海道支部 第42回研修講演会

日本臨床皮膚科医学会北海道支部学術担当
小泉皮膚科クリニック・札幌市医師会

小泉 洋子

平成18年4月8日、日本臨床皮膚科医会北海道支部総会に引き続き、日本臨床皮膚科医会北海道支部第42回研修講演会が札幌グランドホテルで開催されました。根本 治副支部長が座長を務められ、「日和見感染としての皮膚真菌症」と題して日本海員掖済会長崎病院顧問西本勝太郎先生が講演されました。西本先生は皮膚真菌症においてわが国の重鎮であり、貴重な症例を多数示し、日和見感染の観点から皮膚真菌症についてお話をいただきました。講演内容を抄録いたします。

皮膚真菌症は皮膚糸状菌症、皮膚カンジタ症、癬風といった表在性真菌症と黒色真菌感染症、アスペルギルス症、クリプトコックス症、ブラストミセス症、パラコクシジオイデス症などの深在性ものがあります。黒色真菌感染症には①黒色分芽菌症と②黒色菌糸症があり、①はカセイカリ検査によりScroteric cellsが鱗屑内に検出され耐久型の形で組織内で生きており、自然界での形態と異なっています。外因により発症します。一方②は日和見感染としての性格を持ち組織内に菌糸、胞子の連鎖が見られ形態変換をしないで生きています。成人型T細胞性白血病によくみられるクリプトコックス症も日和見感染であり水いぼ様皮疹が全身に撒布し、神

経症状に続発して発症することが多いものです。深在性皮膚真菌症の治療は、日和見感染の場合、基礎疾患に対する対応と外科・局所療法、全身抗真菌剤による治療を行なってゆきます。

カンジタは膣、外陰部の常在菌であり、口腔内には5～50%に検出され、胞子の形をします。皮膚に感染おこすと菌糸を形成します。深在性カンジダ感染は日和見感染の代表です。免疫学的監視を逃れるような性状を獲得したものが内因性として人の体にすみついているといえます。

では皮膚糸状菌（白癬菌）はどのような病原体なのでしょう。Keratinophilicケラチンを好むのが特徴で、普通のバクテリアはケラチンには菌が立ちません。皮膚糸状菌はもともとは多分土の中にいた外因性のものであったと考えられます。100年前レイモンサブロー以降、多種類あることが明らかになりました。馬の尾の毛に土をつけて菌の培養をする（Hair Baiting Technique）と *M. gypseum* が検出されます。この菌は人露出部に強い炎症を起こし、自然治癒し、人から人に感染しません。人に感染するように分化していったものが白癬菌です。2000年、ジャパンフットウィークにおける調査結果では日本には足白癬は約1,200万人、足と爪の白癬は約800万人、爪白癬は約300万人の患者が居り、高齢になるほど頻度が高く、60歳以上では30%に足白癬がみられました。白癬菌はほとんどの人が持っていて、局所の条件のもとで病気になり、自然治癒しません。たとえば、*T. Rubrum* は分離頻度をもっとも高い白癬菌であり、すべての病型を起こし、炎症の少ない病変を引き起こします。皮膚糸状菌症特に足白癬は人間に非常に近くにすんでいる菌によるもので他の動物にはないものです。成人病検診では非常に軽い病変があります。小児患者の親には白癬があります。コットンスワブ検査で陽性であった症状のない小児の親の、足白癬保有率は比較して高いです。家庭がほとんど感染源になっています。患者臍側に菌が見つかることが多く、足左右で菌種が異なることがあります。人間を離れてはただ菌はうつる機会のあるまで生きています。以上のことから白癬は日和見感染としての性格を有しています。病院の通院患者の足白癬においては治療中

21、現在治癒16、治療歴ありあるいは断続中54でした。日和見感染症への対応は治療の限界を知り、治療目的をたて、治療ゴールの設定を行なっていきます。抗真菌剤のMICは高いです。治療していないと家族の感染源になり、爪白癬になりQOLが低下してしまいます。治療歴がありあるいは断続中の患者に対して治療を行ない、症状あるときに外用するのみでも菌を減らすことができます。

北海道は白癬は多くみられるものの真菌感染症の種類は比較的少なく、貴重な症例をみせていただき、さらに白癬の治療の大切さ、治療法について講演を拝聴し大変勉強になりました。



新規指定医療機関

●平成18年6月15日

医療機関名称	所在地・電話番号	開設者・管理者氏名
医療法人社団北星会 さっぽろ北星クリニック	〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 2-15千代田生命新札幌ビル4階 ☎011-801-3000	医療法人社団北星会 とまこまい北星クリ ニック 谷 廣美
たけうち内科循環器科医院	〒077-0021 留萌市高砂町3丁目1-4 ☎0164-42-8820	竹内 克呂

●平成18年7月1日

つきさむ皮膚科クリニック	〒062-0020 札幌市豊平区月寒中央通7丁目6- 20JA月寒中央ビル5階 ☎011-856-2000	南場 裕美
医療法人社団 共生会 まこまない共生クリニック	〒005-0013 札幌市南区真駒内緑町1丁目1-1 ☎011-588-8700	医療法人社団 共生会 齋藤 泰史
ウルトラ内科小児科クリニック	〒069-0862 江別市大麻栄町11-9 ☎011-688-8801	山崎 茂
とよた腎泌尿器科クリニック	〒053-0005 苫小牧市元中野町2丁目17-12 ☎0144-31-2000	豊田 健一
みみ・はな・のど本間クリニック	〒074-0004 深川市4条7-11 ☎0164-23-3387	本間 裕